

## 電気式アンローダバルブ(SUVE型) (圧カリレー方式)

アンローダバルブは圧油槽油圧が最高常用油圧になった時、アンロードさせ、圧油ポンプは無負荷運転となります。油圧が最低常用油圧になった時、オンロードとなり、圧油ポンプは圧油を圧油槽に送り込みます。

従来のアンローダバルブはパイロットバルブ式で圧力調整にばらつきがあり、調整しにくい構造でした。

電気式アンローダバルブはパイロットバルブ式を耐久性のある圧カリレー方式にして調整のばらつきをなくしました。併せてアンローダバルブ廻りの配管もシンプルになりました。

### 1. 動作説明

#### 1) オンロード時

圧油槽油圧が最低常用油圧になった時、圧カリレー(63QP)接点OFFして電磁弁(63QS1)の励磁が解かれ、スプリングの張力によりアンローダバルブは押し下げられ圧油槽に圧油を供給します。

#### 2) アンロード時

圧油槽油圧が最高常用油圧になった時、圧カリレー(63QP)接点ONして電磁弁(63QS1)が励磁され、アンローダバルブは押し上げられ圧油槽に圧油は供給されません。

### 2. ご使用上の注意点

- 1) アンロード時間は油面調整弁の開度により異なりますので調整下さい。
- 2) 電磁弁及び圧カリレー用操作圧は、他の機器への圧油の流動による圧力変動を受けないように別配管として下さい。
- 3) 動作油圧の整定及び動作幅は、圧カリレー内の圧力調整ネジで調整します。

### 3. 構成品目

- |            |  |
|------------|--|
| 1) アンローダ本体 | 1 台 (最高使用油圧20kgf/cm <sup>2</sup> を標準としています。) |
| 2) 電磁弁     | 1 個 (63QS1)                                  |
| 3) 圧カリレー   | 1 個 (63QP)                                   |
| 4) 間座      | 1 式  |

(最高使用油圧30kgf/cm<sup>2</sup>のものも製作しますので、ご用命下さい。)

### 4. ご注文に際しての照会事項

- 1) 使用圧油ポンプ容量
- 2) 使用圧及び動作幅
- 3) 口径・型式(80Aまで製作可)
- 4) 使用圧油槽容量
- 5) 塗装色(マンセル記号でご指示ください。)

電気式アンローダバルブ

